## KAIHOU

会報、快報、回報、ニュース

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報 平成26年度号 平成26年9月発行



### 東京工芸大学同窓会 関西支部 会報 目次 【《本】[十] 〇

来賓ご挨拶 東京工芸大学同窓会常務理事 木村政夫
平成26年 支部総会 4
講 演 東京工芸大学同窓会専務理事 名誉教授 畑 鐡 彦 8
平成25年度会計報告・平成26年度予算案 12
議案審議
平成26年 懇親会
平成26年 総会出席者
総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」 17
会費納入のお願い
役員氏名一覧
関西支部事務局・各地区連絡先 23

平成26年 支部総会 来賓ご挨拶 38期 木村政夫

#### 東京工芸大学同窓会常務理事 38期 木村政夫



はじめまして。まだ卒業していない木村 でございます。

今日は簡単に自己紹介をして終わりにしようかなと思っております。提案がちょっとあるんですけども。

本来は、大学の建て直しが終わった報告をと思っていたんですけれども、もうすでに写真が入っているようですから、次の会報『ひろば』で同窓会から見た写真というものを掲載できるんじゃないかと思います。

私の経歴をちょっとお話しします。今、 滝口君から紹介がありましたが、短大の化 学1の宮本五郎先生のところに残りました。 その3年後くらいに、実は写真工業科から、 昭和43年といいますと工学部の2期生が出た 頃で宮本先生は工学部のほうに移ったもん ですから、私は、ご存知の方いらっしゃる かな、1期生の風野晴男先生のところへ研 究室を移しました。そこでマイクロ写真だ とか写真の撮影とか写真を使ったデザイン というものを一緒に勉強いたしました。

私はそれまで、大学を卒業するまでマイクロ写真を知らなかったんです。そんな話も無かったし。ちょうど卒業して最初の夏に、宝塚にいるボンチャン(滝口雅之 38期)を

訪ねたんです。ボンチャンがマイクロフィルムをやっていたんです。「ああ、こんなもんかいな」と思っていたんですけれど、風野晴男先生がマイクロ写真をやっていて、宮本先生もマイクロ関係を少しやっていたものですから、その関係で原子力研究所、今の原子力なんとか機構でマイクロ写真関係の技術職員を15年くらい勤めさせていただきました。

そのあと、マイクロということでは、昭和42、3年からマイクロ写真協会でマイクロフィルムの企画を30年ほどやらせていただきました。

それから、風野先生の影響で教科書の仕事、書道の教科書の原稿を作る仕事をやりました。これが実は、私の今の趣味に近いところに影響があります。といいますのは、1ヶ月ほど前に実は大阪に来ておりました。なぜかというと写真というよりも、先程のボンチャンと「明日、どこへ行くんだ」「上方の浮世絵美術館に行くんだ」「そんなの知らねえ」って話をしていました。それを見に来たのです。どこでやっていたかというと歴史博物館でやっていて、ついでに神戸で北斎展もやっていたので行きました。

浮世絵を見るのが大好きです。その辺を見ると、「今の印刷物は何だ」という気持ちになり、ちょっとがっかりしている部分があります。それから、この間の目的は藤田美術館で古典を1点だけ見に来る事で、その1点だけを見たくて実は来ました。

今の趣味は、例えば「何かいいものがある よ」というと、それ1点だけを見に島根県 や福島に行ったりしています。いいものを 見る、本物を見る。それが趣味です。やっ ぱり本物を見ないとよく分かりません。写 真や、それから印刷物にしたものっていう のは、なんかこう訴えるものが無いんです。 本物を見るっていうのは本当に必要な事だ なと思っています。そのために、1点だけ 見て満足して帰る。3日間くらいいて、1 点だけ見て帰る。東京でも見るんですけれ ど、東京でそういうものを見ますと2時間 くらい外で並んで、中へ入って「はい、立 ち止まらないでくださいしっていう状態で 見る。そんなの鑑賞じゃないです。ですか ら、なるべく東京のものが地方に行ったと きに見に行く。ドライブも好きなもんですか ら、それを兼ねて動いております。

いいものを見たとき、美しいものを見たときに感じる頭の中の構造からいうと、美味しいものを食べたとき「美味しいなっ」で感じるところと、いいものを見たときに感じるところは同じ場所が反応するんです。美味しいものは、好きは好きだけれど、お金が無いもんですからあんまり行きません。ものを見るっていうところだけで満足しております。これでたくさんお金があって、いろんなところに行ければいいんですけれども、貯まったら行くというような状態です。

そういう事をやっていましたら、昭和55年くらいに、実は短大のほうで印刷科が定員割れしたんです。40名集めるところを30名くらいしか集まらなかった。それが2、

3年続いたんです。何でだろうなと。そしたら、千葉大が印刷をやっていて、もうそろそろやめていたのかな、あぶないから。うちだけ、工学部と短大があったわけです。無理だろうということで、定員割れして中の人たちは平気な顔しているんですよね。「割れたのは学校が悪いんだ」くらいのことでね。そうじゃないだろうと、もしかすると中にデザインがあればいけるんじゃないか。まずは版下、デザインをやったらどうだということで、私は印刷のほうへ移りました。それで、なんとか回復いたしまして、それが現在、芸術学部のデザイン学科のもとになっているんです。印刷科は、終わってしまいました。

そのときに、今日はいらしてませんけれど、 モリサワの社長さんが東京の飯田橋でフィ ニッシュワークっていうのをやっていたん です。そこで教わりながら、その足で学校 へ行って、帰ってきて、それから学生に フィニッシュワークを教えるという綱渡り をしておりました。

それからもうひとつは、ちょうど1990年、 Macが入ってきたんです。その前は、コン ピューターでデザインできるということで、 ほとんどビットマップでできていたんです けど、ほとんど使いものにならないんです。 ルミナートなんて機械、その当時1.000万 円くらいしたんですけれど使いものになら ない。ところが、Macが入ってビットマッ プもあり、フォトショップなんかもあった んですけれど、イラストレーターを見て 「これだ」と。ベクトルデータなんで。モ リサワさんもその頃、Macを導入してやっ ていました。それから、フォントも全部べ クトルデータのものに変えて。それで今も、 たいへん頑張っていらっしゃる。それで、 デザインがデジタル化していったんです。

現在、芸術学部のデザイン学科では定員

が165名ですか。ほかの学科は80名ですから、2倍の定員でやっております。皆さんのご子弟の方、知っていらっしゃる方がおりましたら、ぜひご紹介していただければ何か打つ手はありますのでよろしくお願いしたいと思います。

今日は10分の予定のところが15分になりましたので、提案したいなと思っておりましたのは、今、何でもデジタル化する事です。今、私もデジタル化をしておりまして、同窓会の会報『ひろば』。これを128号まで全部集めまして、デジタル化しました。そのときに、どういうファイル形式にしたらいいか分からないんです。例えば、国会図書館がやっている方法としては、まず、PDF化する。それから、もうひとつは、JPEG2000にして保存する。ところが、日本写真学会のデジタルの方式としては、TIFFでやりなさいと。それぞれで決まっていない。それから、どれくらいの解像度でスキャンするのか決まっていないんです。

それから今度は何に保存するのか。どう したらいいのか。写真学会のほうを見ます と、ハードディスクに保存しなさい。それ から、CDだとかDVDだとかのディスクに入 れなさい。それから、メモリーに入れなさ い。おのおの欠点があるから、ハイブリッ ドでやりなさい。2つやりなさい、という ようなことをいっています。実は5年か10 年くらいしか持ちません。持ちませんって なぜかというと、ソフトが変わるんです。 それから、読む機械のデバイスが無くなる。 だから、やるには、確かにものは持ちます。 10年くらいなら持ちます。ところが、媒体、 メディアの変換。その時代時代に合った変 換を必ずやっていかなければならない。こ れが大変なんです。来月、パナソニックが 長い間持つディスクを発売します。それか ら、9月に発売されるブルーレイの分で50

年くらい持つ。そんなに持ってもしょうがないのに。読むデバイスが無い。そこで、なるべくデジタルのほかにアナログで長く持つ方法を考えなくてはいけないんじゃないかと。両方でやらないといけない。

それで、面白いのは学術書みたいなもの を保存するために、文化庁はコロタイプ じゃないといけないというのがあったよう です。そんなのも聞いたことがあります。 私は、アナログで保存するもの、紙、印刷 インクだとか諸々のもの。これは、本当に やる気になれば写真なんかよりもやりやす いんです。紙もちゃんとすれば長持ちする。 インクも持つんですから何とかなるわけで す。やはり、データじゃなくアナログで何 か持つことを考えていただきたいなと。今、 印刷関係の方には申し訳ないけれども、安 く作り上げることに追われてきたみたいで すけど、学術関係の本は50部くらいのコス トの高いものでもいいから、長く持つものを 開発してほしいと思っております。

話はこのくらいにします。先程、畑先生 と話をしていたんですけれども、同窓会の 本部では、月曜、水曜、金曜、この3日間 常駐しております。朝は10時から4時まで なんですが、月曜日と水曜日に畑先生が、 金曜日は私がおります。ぜひ、中野のキャ ンパスをのぞきに来たときには声をかけて いただければご案内いたします。というの は、警備員がいて入りづらいんです。最近 の大学っていうのは、不思議でどこでも カードキーで入れるようになった。我々は 持っていないので入れないんです。だから、 建て直しが終わりましたが、全部まわって いません。この際、そういう事情もありま すので、同窓会もカードキーをもらいまして、 皆さんをぜひご案内したいなと思っており ます。

平成26年 支部総会

東京工芸大学同窓会関西支部 総 会 平成26年6月 於 アークホテル



## 平成26年 支部総会

平成26年6月28日(土)、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」 にて開催し、近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学同窓会本部専務理事畑 鐡彦名誉教授、また木村政夫 東京工芸大学同窓会本部常務理事のご出席を頂きました。

38期滝口氏の司会進行で、まず亡くなられました、27期石川芳徳氏、29期岩朝哲男氏、 47期岩田裕夫氏に黙祷を捧げ、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが 審議されました。

来賓講演にて、畑 鐡彦名誉教授より「韓国支部会の報告など」のお話を頂き、また 木村常務理事より同窓会事務局の近況などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り工-8期石岡博文氏の司会、54期金居光由氏の乾杯に 始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、工-27期 三橋浩二氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。





支部長 42期 駕田 毅 氏



司 会 38期 滝口 雅之 氏





京都地区 39期 安岡 賢治 氏



滋賀地区 47期 大西 繁 氏



大阪地区 39期 山本 哲 氏



兵庫地区 36期 西尾 祐一 氏



双美会 工2期 内田 英男 氏



会計報告 40期 倉橋 正直 氏

## 東京工芸大学同窓会専務理事 名誉教授 州



#### 東京工芸大学同窓会専務理事 名誉教授 /用 鐵彦

今日、お話しさせていただきますのは韓国支部の 活動のことです。韓国での支部総会に私は3度行っ ております。日本には韓国からの留学生がかなりた くさん来ております。そして彼らは帰国後、韓国の 同窓牛の集まりで主として写真による展覧会を行っ ています。2011年から2012年にかけて展覧会をジョ ン・ゼオン美術館というソウルの北の郊外にある美 術館で行い、大学院生と私を入れて日本から14人が 展示に参加をしました。それから2013年、ソウルの 仁寺洞(インサドン)にある美術館の中で、韓国からの 留学卒業生が15人、私と立川氏の2人が参加をしま した。今年の2月には、3回目の展示で韓国からの 現役の留学生が9人、日本人は村井修氏と私が参加 をしました。ただ、同窓会支部会として立ち上がり ましたのが2012年からですが、先に2010年から2011年 に掛けて一度展覧会をやっております。

彼らの面白いのは、やはり若いということです。 彼らの作品を見ていますと、私は1945年生まれです から、彼らと一緒に展示をやっておりますと彼らの 方が新鮮な広い視野で見ているということが感じられ ます。参加をされている人は、芸術学部がスタート してからの人が多いのです。

現在の韓国の支部長は芸術学部1期のハン・スン タク(韓承卓)君です。よく電話で話をするので、電話 料金がかかってしまうのに気を付けながら話をして います。彼は工芸大のことが好きですし、私との付き 合いも良くしてくれます。そんな彼が今、韓国支部 長ということで、「もうそろそろ2年くらいで身を 引きたい | なんて言っておりますが、「冗談じゃな いよしという話もしております。

1回目の同窓会としての展覧会は韓国を流れてい る漢江(ハンガン)のソウルからちょっと北にある大 変立派なジョン・ゼオン美術館での展覧会でした。 私と佐藤等君(45 期)、そして現在 の若手ということ で参加しました。

これが会場と なっている美術館 です(写真1)。館 長が美術関係や新 聞記者を集めて、 紹介のセレモニー をやりました。私 が挨拶をして司会 をキム・ヨンジャ さんがしてくれま した(写真2)。

参加している彼 らは、毎年展覧会 を同窓会の支部と してやるというこ とを考えていて、 大きなプリントを 作るという意欲が 感じられます。全



員の作者それぞれが説明と紹介をしていきました (写真3)。

ですとか、清水 の三保の松原と かそういう感覚 がありますが、 この様に掛軸で 作品を作るとい うリ・ヨ君の作 品です(写真4)。









作品を見ていきます。日本ですと沼津の千本松原





全体的にプリントのサイズが大きいですね。キム・ ソンタク君のプリントは170×80。迫力があります (写真5)。毎年この様な展示をするということに なっていますので、必ず1年間を通じて作品を作る という気持ちでやっているわけですね。

韓国の展覧会を見に行くとプリントの大きい作品 が多いですね。我々ですと大体11×14サイズのプリ ントが基本で、その上で16×20のサイズがちょっと 大きめだと思いますが、向こうに行きますと、20× 24のサイズのプリントが多いですね。

その後、展示会をやった会場の上の部屋を借りま



して、韓国支部総 会をいたしました。 韓国支部会のフ ラッグみたいなも のを作りましたね。 本部からお祝い金 を支部長に渡しま した。こういうふ

うに席を設けて打ち合わせやいろんな会議をやると いうかたちになっております(写真6)。

その後宴会になりました(写真7)。やはり、こう いう集まりを皆さん喜んでいて、私はアルコールが 全然だめなんですけれども、けっこう飲んでしまいま

した。ホテルに無 事に帰れるか心配 ではありましたけ れども。これが同 窓会としての1回 目の作品展示及び 支部総会でした。

張って東京工芸大

学韓国支部展覧会



会場は3階建てのビルで1階、2階、3階がそれ





フラッグを作りました(写真8)。彼らにすれば日本に 留学し、国に帰る、やはりそこに自分の経験による 価値観を持っていきたいという気持ちがあると思うん です。

会場にはかなりいろんな変わった作品が出ています。 パク・ヒョンウク君の作品はちょっと不思議な、海が 光っているんですね(写真9)。キラキラ光っている 海を大きなプリントにしているという。今後、ある 程度の数でテーマとして作っていくのであれば『光が 輝いている。っていうのをテーマにしていくといいん じゃないかなという話をしたりしました。

こういうふうにちょっと特殊な映像を作っている 場合もかなりあります。これもそうですね。ヨウ メ・チョイ君の作品はデザインふうに作っています ね(写真10)。リイ・ヨ君の作品は人をテーマにしな がら不思議な状況が感じられます(写真11)。これは、 コ・ジョンナム君ですが、古い日本語の本を興味を 持って制作しているというのは変わっていると思 います(写真12)。『悪の華』というボードレールが 書いた日本語の本なんですが、それを非常に興味を 持って読んだということで、こうやって本を写真の 作品としているのも面白いですね。この作品がある







程度いろんな展開ができるようになればいい方向に いく可能性もあるんじゃないかと思います。会場に は大勢の集まりがありました(写真13)。



次は、ソウルでの3度目の展覧会です。皆さんご存知の村井修先生です(写真14)。村井先生は中野の大学のそばに事務所を持たれていまして、私は、ときどきおじゃまをして、お話をさせてもらっていま

す。村井先生は 韓国にていまれて。 ででではいった。 でででいるがでいる。 でででいる。 でででいる。 でででいる。 ででできない。 はないいのの。 はないのの。 はないの。 はない。 はないの。 はないの。 はないの。 はないの。 はないの。 はない。 はない。 はないの。 はない。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 



写真14・村井修先生(25期)

をよく知っているので、ぜひ村井先生に展示をお願いしたいという話がありましたので、この度作品を 提示をされた訳ですね。

127号の同窓会誌に、『Architecture\_風景+人展を迎えて』という、この展覧会の記事が載っていまして、ここに村井先生のことをかなり詳細に韓国の卒業生が書いています。やはり、こういう写真を撮るということ、しかも、村井先生の場合は建築の写真が専門だといわれておりますけれども、それだけではなくて、御自分の感性を表現するということを目的として写真を作って本にされています。今年の展覧会も、村井先生にこうやって参加していただけて非常に嬉しく思っています。ソウルで建築家です



とか写真家の方々がよくご 存知の方がいらっしゃって、 村井先生の写真は「できれ ばデパートでちょっと大掛か りな展覧会をできないかな」 という話が出ていました。私 はハン君に、ワンステップ もうひとひねりという気持 ちで話しました。 これが村井先生が展示された作品です(写真15)。 この作品は主に建築の作品ですが、本当は村井先生 の建築以外の作品もずいぶん私は好きです。これは 目白のカテドラル教会ですね。大変良い作品を展示 させていただきました。これは私の作品ですね。村井 先生と比べるわけにはいきませんね(写真16)。





韓国の卒業生作品の展示においては、モノクロのプリントがかなり多いですが、カラーでの作品もすごく頑張っておりまして、横が約1メートルくらいの展示プリントになっておりました。ぜひ日本で展覧会をやりたいと言っている人もおります。日本でやると、すごくお金がかかってしまうということもありますので、心配ですね。

イム・ジオン君の作品、水のタンクなどを撮っているドイツのベルント&ヒラ・ベッヒャーという二人でやっている制作にちょっと似ていますね(写真17)、キム・ソンダク君がカラーで家を写した作品です。夜、照明をして写しています。迫力がありますね(写真18)。東京で展示ができると嬉しいですね。

会場で写した集合です。向かって前列、左に写っ







ているのが映像学科の李容旭 教授です。今年と昨年と一緒に参加してくれています。いずれ映像も含めて、ソウルで展示をできるようになるのではないかと考えております(写真19)。

韓国の展覧会はこれで終わりにしまして、皆さんの 気持ち換えてテストするような作品を見ていただこう かと思います。テストと言っても別に何かをやって いただくというわけではありません。

私が前に授業で使っていたものがありまして、私 自身が興味を持っておりますのでご覧いただければと 思います。男としていわゆる女性の色気も見えます ので気持ちが休んでいらっしゃった方も、もう一度 気持ちを明るくして見ていただければと思います。

これは前に授業で使った資料でして、私の好きなジャンルー・シーフとラルフ・ギブソンという二人です。シーフとギブソンというのはすごく写真の感じが違うんです。違うけれども、どっちが好きかなと。ちょっと皆さん、それを感じていただけばと思います。どっちが好きかなと。

まず、ジャンルー・シー フという写真家。細かいこ とはともかくとして。これ はかなり有名ですのでご存 知の方もいらっしゃると思 いますが、かなりファッ ション系のスタジオで撮っ ている写真が多いのです。 撮り方もすごく完璧に写す。 プリントもかなり理論的で あって、構成もすごく完成 に近いような写し方をして いる。これがジャンルー・ シーフがモデルを撮った作 品です(写真20)。これは、 もうひとつ別のシーフの風 景なんですけれど、風景で あってもほぼ完璧な構成で、 まるで理論的に画像が生き ているような撮り方をして いる作品です(写真21)。



写真20



写真21

もうひとつは、ラルフ・ ギブソンの作品です。ここ でちょっと皆さん、どっち が自分の感性に合うのか、 それをお考えいただければ と思います。ラルフ・ギブ ソンの写真はある意味で大 変美しいプリントではあり ません。粒子も粗いし、プ リントもやや汚いです。け れども、こうストレートに 自分の感覚を生かしている という感じがすごくするん ですね。私はこの写真が大 好きでしたね。自分のボー トに乗っている女性のこう いうスタイル(写真22)。今 日の会場には女性いません ね。何がいいんだろうと思 うんですけれども、もうひ とつがこれ、ラルフ・ギブ

ソンの別の写真集の、自分



写真22



写真23

の恋人を撮っている写真(写真23)なんですけれども、全然きれいなプリントじゃないんですね。私だったら絶対焼き込みしますし、こういうところはまったくしていませんね。ここはもう濃すぎるんじゃないのっていう感じなんですけど、全然そういうことは考えていないという。現像ムラじゃないのかって思うんですが、何かこう魅力を感じてしまうという。そういう不思議なものだと思うんです。おそらく、今の世の中でこういうラルフ・ギブソンがこうやって評価されることは非常に難しいとは思いますけれども、私はそれだけ価値があると思うんです。

以上です。皆さん、どちらが好きだったでしょうか。シーフとギブソン。ギブソンですか。シーフが、より好きだったという方はいらっしゃいますか。あぁ、いらっしゃらないですか。やっぱり、ギブソンですかね。おそらく、ラルフ・ギブソンは面倒くささは無くて、とにかく自分の感覚をストレートに人に見せたいっていう、そういうことでしょう。それがす

ごく伝わってくるとや はり写真の良さという ものが、そこに感じら れるんじゃないかと思 います。

以上でした。どうも ありがとうございまし た。失礼いたしました。



#### 平成25年度会計報告

H25.6.1~H26.5.31

	ג עוו	の部
	1人	
項	目	金額
前年度	繰越金	414,896
支 剖	費	153,000
総 会	費	237,000
寄	贈	55,000
利	息	86
合	計	859,982

支	出の部
項目	金 額
通信費	70,270
総会会場費	196,450
交 際 費	56,200
会 議 費	43,100
雑費	26,258
交 通 費	3,160
次年度繰越費	464,544
合 計	859,982

平成26年6月15日

会計 倉橋正直 編



監 査 滝口雅之



#### 平成26年度予算案

収入の部

支出の部

464,544 金 支 150,000

信 費 70,000 交 50,000 50,000 30,000

会 計 倉橋正直

### 議案審議

- 1.25年度会計報告と監査報告(上記の通り)
- 2. 役員改選
- 3.26年度活動計画の概要
  - (1) 支部会員に26年度総会等の報告書を作成し送付する。
  - (2)「新年懇親会」を諸般の事情により中止する。
  - (3) 次年度総会を平成27年6月開催の予定。
  - (4) 定例役員会1回開催。(27年3月)
- 4.26年度 収支予算案 (上記の通り)

# 平成26年 懇 親 会







司会 工-8期 石岡 博文 氏

乾杯 54期 金居 光由 氏

中締 工-27期 三橋 浩二 氏



乾杯風景































#### 平成26年 総会出席者(32名)

来 賓 東京工芸大学同窓会専務理事名誉教授 畑 鐡彦様

東京工芸大学同窓会常務理事 木村政夫様

(滋賀県) (2名)

大西 繁(47期) 鶴谷佳憲(工-10期)

(京都府) (3名)

安岡賢治(39期) 北村隆夫(40期) 宮本利夫(41期)

(大阪府) (17名)

林 徹 (33期) 南 博 (33期) 荒木祥夫 (33期) 増本安雄 (34期)

滝口雅之(38期) 山本 哲(39期) 北村知二(40期) 倉橋正直(40期)

駕田 毅(42期) 恵川邦雄(43期) 脇田耕作(45期) 内田英男(工-2期)

墨野豊治(エ-4期) 谷野 彰(エ-8期) 石岡博文(エ-8期) 新堂謙一(エ-19期)

三橋浩二 (工-27期)

(兵庫県) (7名)

山口譲一(29期) 福岡武雄(30期) 西尾祐一(36期) 野間千臣(40期)

金居光由(54期) 高西 淳(59期) 小林修一(工-16期)

(奈良県) (1名)

安川洋平 (30期)

#### 物故者(平成25年6月~平成26年7月)ご冥福をお祈りします。 -

 27期
 石川
 芳徳氏
 御逝去

 29期
 岩朝
 哲男氏
 御逝去

 47期
 岩田
 裕夫氏
 御逝去

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます とともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

## 総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

#### 

(お詫び:地区長の不手際で、今年度総会返信時に書いて頂いた皆さん方のコメントを掲載出来なくなりました。ここに謹んでお詫び申し上げます。 滋賀地区長 大西 繁)

#### 

24期 山本 吉 男 先約写真研修会で九州鹿児島行と重なり迷っていましたが、老後ラスト の遠方旅行を選びました。おかげで元氣に暮していますが、今回は残念 ながら欠席します。又次回は必ず出席します。どうぞご盛会を祈念いたします。諸兄によろしく。

35期 外村陽二 申し訳ありませんが、欠席します。ちょうどこの頃、世界自然遺産の撮影のため、アメリカ西部に旅行中です。相変らず、国内外の世界遺産を撮影取材しています。

37期 濵中 諒 京都八幡市と久御山町を結ぶ流れ橋(上津津屋橋)をホームグラウンドと してマウンテン・バイクで四季を撮影しております(運動を兼ね)。いつも お手数お掛けします。

41期 井原裕三 毎々のお世話、ありがとうございます。誠に申し訳ありませんが欠席とさせて頂きます。

48期 中上清之 仕事の都合上、申し訳ございません。欠席させて頂きます。

53期 山本孝弘 写真営業多忙のため欠席します。ご盛会を祈ります。

#### 

30期 貝塚 裕 写真の仕事から離れて約2年たち、最近趣味は何ですかと聞かれ、やっと趣味は"写真"ですと答える様になりましたが、仕事と違って"何を撮って良いのか"迷っている現在です。

30期 各務正彦 映像分野の発展が著しく4K3Dまだ々未知を感じさせられる昨今です。 我々写真分野はどう寄与していくか、新しい価値感を追求していきたい。

31期 上 林 朗 男 皆様によろしく!!

33期 荒木祥夫 ご案内有難うございます。

33期 追田憲一

#### 

33期 南 博 役員の皆様いつもお世話様です。お蔭様ですばらしいひとときを過させて いただきます。あい変らず太極拳の指導で、教育(今日行くところがある) と教養(今日用がある)に満たされています。

36期 神前和昭

40期 北村知二 古希を迎えましたが、平々凡々とすごしております。そこそこ健康の様で?年一回の人間ドックに行くのが、こわいような、安心なような。

40期 倉橋正直 来年は東京でのホームカミングデー参加を楽しみにしています。

40期 菱川典郎 昨年古稀を迎え断捨離-生前整理?を頑張っております。又一方で都道 府県全国制覇を目ざしてカメラ片手に~(^^) 諸先輩のご健康をお祈り 致します。(若い人達を呼ぶ方法を考えて下さい)

42期 木 地 憲 司 いつも済みません。宜しく!!

42期 諏訪 賢 住所変更をお願い致します。圓豊中市本町 6-1-25→劒京都市中京区 秋野々町529 ヒロセビル B1 ㈱スーパースタジオ内

43期 和田潤司 いつもお世話になり感謝します。これからもよろしくお願いいたします。

44期 荒木康德

T-2期 内田英男 皆様と御会い出来る事を楽しみにしています。

工-2期 沖 岩男 総会の案内ありがとうございます。役員の皆様には、色々なお世話に感謝 致します。私こと、昨年12月に妻を亡くしまして、今は喪に服しています ので、誠に申し訳ありませんが、欠席させていただきます。本会のご盛会 をお祈りしております。

工-3期 野志敏郎 卒業して早や40年あまり、大学、厚木は懐かしい限りです。先生、先輩方には、よろしくお伝えください。尚、「双美会」の方には、なるべく出席させていたべきます。

工-8期 谷野 彰 懇親会より参加します。

工-18期 松本秀作 誠に申し訳ございません。先約公務の為欠席いたします。皆様のご健勝を お祈り申しあげます。

工-27期 三橋浩二 撮影はまかせて下さい。よろしくお願い致します。

#### 

27期 杉本卓也 お世話の役員様方々に感謝致しておりましたが、当日急な所用が発信されましたので残念ながら欠席させていたべきます。

27期 仁 科 義 男 新しく編入させていた、きましたが、未だリハビリ中で一人歩きが出来ず 欠席させていた、きます。皆様のご多幸とご健勝をお祈りしております。 29期 山口譲一 お世話有難度う御座います。今期の出席で最後のように思います。体の 調子が悪くなっています。

30期 福岡武雄 役員の皆様、支部活動・運営にご尽力ご苦労様です。お陰様で平均寿命を 超え元気に過ごしております。目下、趣味三昧!国内外を含め"旅"の 楽しみも加わりました。人・友との交流、交誼に感謝の日々です。

30期 松本一馬 当月3日で、80才になりました。アット云う間の80年でしたが、これからの一年一年は、有意義に過ごしたいと思っております。これからも総会で先生方や皆様方にお会いできる事を楽しみにしております。末筆で失礼ですが、役員の方々には大変お世話になっております事、深謝の極みです。御礼申します。

31期 森澤嘉昭 元気に働いております。ヨーロッパに行くのでとの事。

31期 工藤 眞 リタイヤすると体の方も弱くなり、今一つ自信がありません。申し訳あり ませんが欠席とさせて頂きます。

36期 上 松 忠 夫 平成11年に神戸新聞、デイリースポーツ社を退職。今はフリーカメラマン でのんびりスポーツ写真の撮影をしております。

41期 八田洋征 いつもご連絡ありがとうございます。体調不良のために欠席します。ご 盛会をお祈りします。

44期 直 井 秀 子 同期の友人とは、東京で年に何回かお会いしてます。卒業時、木村先生に お世話になりました。宜しくお伝え下さいませ。

45期 鈴木憲一 多くの仕事をするのが体力的にも、又、親の介護もあり困難になったので、 高校一校のみ、若い生徒を相手に少し楽しみながらやっています。土曜 日は親のところへ行く日です。欠席します。

52期 岸田啓史 永らく関西支部の皆様にお世話になりまして、ありがとうございます。この度、3月に埼玉に転居いたしました。今後共、変らずよろしくお願いします。旧住所 兵庫県川西市山下町21-10→新住所 〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿516-9 TEL&FAX 049-227-3266(尚、東京の同窓会本部にも転居届を提出しました。) 宝塚市山本の実兄の岸田 仁は昨年5月に他界いたしました。

54期 金居光由 初めて参加します。よろしくお願いします。※昨年、住所変更しました。

工-7期 鈴木 隆 役員の皆様にはいつもお世話になります。都合により欠席させて頂きます。 盛会をお祈り申し上げます。

工-25期 鈴木正一郎 今年は所用のため欠席させて頂きます。

#### •••••• 奈良地区••••••••••••••

23期 上田史郎 相変らず体調悪く、主治医の先生から、数年前より禁酒は勿論、食べ物の制限も受けています。ご盛会をご祈念申し上げます。

28期 佐伯 浩 何時もご無沙汰ばかりで申し訳ありません。現在はサンデー毎日ですので趣味を楽しんでいます。町の絵画クラブ位です。5~6年前迄はカラオケ、俳句も好きでやっていました。もう写真は消えました?感材メーカーも世界でフジフイルム1社ですか?淋しい時代になりましたが、若い方は頑張って。大学の発展を祈っています。

30期 宇都宮和子 元気にしていますが、当日は家族と出かけることになっています。

33期 牛山廣己 体調悪し

39期 今野礼三 ご案内、ありがとうございます。

43期 二見むつみ いつも、お世話になり有難うございます。残念ながら、この日は仕事が あり欠席させていただきます。

#### 

38期 村田 忍 いつも役員の皆々様には御苦労様です。一昨年同期の友と熊野古道を歩き、 先月末には土門挙先生の弟子藤森 武さん(酒田市土門挙写真美術館学 芸員、理事)が有田川沿い他々の仏像の撮影に来県して、写大時代にも どり親交を深めました。総会楽しみにしています。

47期 岩田裕夫 長い間御世話になりまして、ほんとうに有難うございました。去る平成 26年2月15日に90才の天寿を全うして亡くなりました。安らかな旅立ち でございました。有難うございました。

#### 

38期 木村政夫 関西支部に初めて出席させていただきます。よろしくお願いいたします。

41期 畑 鐵彦 当日は宜しくお願いいたします。

#### 会員各位

東京工芸大学同窓会 関西支部長 駕田 毅

#### 会費納入のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様には、日頃支部運営に何かとご協力を賜り有難うございます。同窓会の活性充実を図るため、会員の皆様には支部活動の状況をお知らせし、一層のご理解を戴くことを念じまして、本年も26年度の会報を制作し、お届け致しました。お目通しの程よろしくお願いします。

恒例の支部総会は、会員各位の親睦・情報交換の場として、一層盛大になることを念じております。

つきましては、同窓会関西支部の26年度年会費のご協力をお願いする次第でございます。 次回の総会に初めて参加希望、参加予定の方も26年度会費のみで結構ですので、万障繰り 合わせの上ご参加頂きます様お願い申し上げます。

尚、26年度会費納入済みの方には会費請求の重複ご容赦下さい。

敬具

記

1. 東京工芸大学同窓会

関西支部 26年度・年会費 3.000円

2. 会費振り込み先 東京工芸大学同窓会・関西支部

口座番号 南郵便局 [00940-4-97724] ※同封の郵便振替用紙をご利用下さい。 (振込料は無料です)

年々会費納入者が減っております。

このままでは支部運営に多大な影響を及ぼします。是非とも1名でも 多く会費納入に御協力をお願い致します。

◇お問い合わせは会計担当・倉橋まで Tel 06-6761-6868

会計担当 倉橋正直

#### 東京工芸大学同窓会関西支部 役員氏名

	役 職 名	期	氏 名	備考
	顧 問	23	上田史郎	
	顧 問	30	福岡武雄	
	顧 問	30	松本一馬	
1	支 部 長	42	駕 田 毅	総務担当
2	副支部長	40	倉 橋 正 直	会計担当
3	副支部長	工21	原 浩一	企画担当
4	副支部長	工4	俣 野 恒 雄	広報担当
5	副支部長	39	山本 哲	総務・大阪地区長
6	副支部長	工2	内田英男	大阪地区4年制担当
7	副支部長	47	大 西 繁	滋賀地区長
8	副支部長	39	安岡賢治	京都地区長
9	副支部長	36	西尾祐一	兵庫地区長
10	副支部長	38	本城丈夫	奈良地区長
11	副支部長	38	村田 忍	和歌山地区長
12	監 事	38	滝口雅之	
13	監 事	工8	谷野 彰	
14	副地区長	30	安川洋平	奈良地区
15	広報委員	工16	小林修一	
16	同期委員	30	安川洋平	兼任
17	同期委員	31	森澤嘉昭	印刷部会 会長
18	同期委員	38	滝口雅之	兼任
19	同期委員	39	安岡賢治	兼任
20	同期委員	工2	内田英男	兼任
21	同期委員	工16	小笠原秀樹	
22	同期委員	工25	鈴木正一郎	
23	職場委員	工21	原 浩一	兼任
24	職場委員	工4	俣 野 恒 雄	兼任
25	職場委員	工25	鈴木正一郎	兼任
26	職場委員	工12	伊東正邦	
27	職場委員	工27	三橋浩二	
28	婦人部部長	38	村田 忍	兼任
29	婦人部委員	43	二見むつみ	

会員の皆さんに同窓会情報をお届けしようと、会報をお送り致します。

で意見・ご提案がございましたらご一報下さい。

なお、会員の異動や慶弔ごとなどは、お手数ですが各地区長又は事務局までご連絡下さい。

支部長兼総務担当 駕田 毅

### 東京工芸大学同窓会問西支部

事 務 局 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 (OMMビル11F)

ダイコロ株式会社内 秘書室

TEL 06-6944-6311 FAX 06-6944-6427

各地区連絡先 滋賀地区 大西 繁

〒525-0072 草津市笠山5丁目3-66-604 TEL077-563-9208

京都地区 安岡賢治

〒610-0331 京田辺市田辺北里24 TEL0774-62-1376

大阪地区 内田英男

〈工学部〉 〒594-1111 和泉市光明台 2-45-2 TEL0725-56-5726

大阪地区 山本 哲

〒557-0006 大阪市住之江区浜口西 2-3-9 TEL06-6678-2426

兵庫地区 西尾祐一

〒665-0877 宝塚市中山五月台4-11-1 TEL0797-89-2248

奈良地区 本城丈夫

〒630-8348 奈良市小太郎町 4 TEL0742-22-6225

和歌山地区 村田 忍

〒646-0043 田辺市今福町91 TEL0739-22-4595

当会報作成にあたっては、ダイコロ株式会社に一層のご協力を戴きました。ダイコロ㈱には厚く御礼申し上げます。

東京工芸大学:同窓会関西支部

MEMO

## 株式会社 美生社

39期 山本 哲 工·5期 山本 70期 山本素之

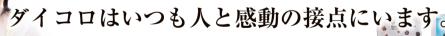
> 〒557-0024 大阪市西成区出城1-7-4 TEL 06-6647-8555(代) FAX 06-6647-3176

### 31期 森澤嘉昭



## 株式会社モリサワ

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151 Fax.06-6649-2157







ダイコロは毎年100万冊の思い出を

